

『1枚のハガキで売上を伸ばす法』の勉強会で紹介された「13の心得」は、とても効果があると思いました。ランチェスター経営(株)の竹田陽一先生が作られたものですが、お役に立つと思いましたので、一部、私たちの仕事に置き換えまして、ご紹介したいと思います。

## 1枚のハガキで売上を伸ばす13の心得



- 第1条** すべての経営はお客から始まり、すべての利益はお客様のお金から出る。会社の力の7割は、利益発生源のお客様に向けよ。
- 第2条** 商品をどこで買うかの選別権は、お客様が100%持っており、売る方の権利はゼロ。お客様は自分の好きな店から商品を買う。
- 第3条** お客様は自分に関心を示してくれ、自分を詳しく知ってくれる店が、好きになる。
- 第4条** 最も価値ある知識は、お客様について知ること。お客様の人生や仕事内容に、もっと関心を示し、お客様について知る情報を、本気で集めよ。
- 第5条** 真の財産はお客様の数にある。利益発生源のお客様台帳を作り、内容の充実にもっと時間と人手を掛けよ。
- 第6条** 訪問による面会やご来店に、銀行送金やお客様の紹介は、新たな出会いだ。そのつどハガキを出せ。
- 第7条** 商品をお買い上げ頂いたお客様を、決して忘れてはならない。このためにハガキを出せ。
- 第8条** お客様と人間関係を維持するため、売り込みを抜きにした、真心ハガキを年4回出し、固定客の増加に取り組め。
- 第9条** ハガキは形の変った営業マン。競争条件が不利な小さなお店は、郵便局の職員を嘱託営業職員と考え、もっと積極的にお願いせよ。
- 第10条** お客様と音信不通が、売上不振の原因の一つ。手紙をついでの仕事と軽く見るな。自分のモノグサや、筆不精を自慢するな。
- 第11条** 手紙を継続して出すために、どういうときに出すかと、そのモデル文章に、書きやすいイラストハガキの、3点セットを完備せよ。
- 第12条** 1日30分を強制的に作り、その日の出来事を振り返り、1日5通の真心ハガキを出し、感謝を態度で示せ。この実行は自分の人格を磨くことにもなる。
- 第13条** 手紙は漢方薬。続けていると必ず成果が出る。副作用なし!!

名曲には必ず、その曲が生まれた物語があります。これから毎回ご紹介していきたいと思えます。

## カラオケ名曲のへえ～あの名曲の誕生秘話

### 第8回は 石川さゆり『天城越え』

#### 天城の情景、その情景と情感を、見事な言葉と音で表現した名曲

カラオケとしても人気の高い曲に石川さゆりの『天城越え』があります。ヒット曲が出る条件のひとつに、カラオケで歌いたくなる曲というのがあります。そのような意味では『天城越え』は、自分が主人公になって歌いたくなる曲ですね。



▲浄蓮の滝の横にある、「天城越え」の歌碑

ンネル(天城山隧道)に足を踏み入ると、「風が群れてくる」と感じ、「風の群れ」と「天城隧道」を曲の中に入れてくれ、と弦哲也さんに言って、それで完成していたのを、またバラして作っていったそうです。

石川さゆりに激しい女の情念を歌わせたいというスタッフの着想と、天城の情景、その情景と情感を、見事な言葉と音で表現した名曲です。

#### 天城越え

作詞：吉岡 治 作曲：弦 哲也

隠しきれない 移り香が  
いつしかあなたに 浸みついた  
誰かに盗られる くらいなら あなたを殺していいですか

寝乱れて 隠れ宿 九十九折り 浄蓮の滝  
舞い上がり 揺れ落ちる 肩のむこうに あなた…山が燃える

何があっても もういいの くらくら燃える 火をくぐり  
あなたと越えたい 天城越え

石川さゆりの新境地を切り開きたいというレコード会社の考えから、作詞家の吉岡 治さんと作曲家の弦哲也さんは、天城に近い伊豆・湯河原の旅館で3日間の合宿を張ったそうです。天城の風景の中で、石川さゆりの“女の情念”を引き出していこう、激しい女の情念を歌わせたいという考えからだったそうです。

吉岡治さんは、鎌倉時代の源頼朝の奥さんで、かつて天城に生き、女の性(さが)と強さを持った北条政子のイメージを、歌の主人公に重ねて作っていったそうです。このような考えから、「誰かに盗られる くらいなら あなたを殺していいですか」といった強い情念の詞を付けたそうです。

また吉岡治さんは旅館の周辺を散策中、旧天城ト

行ったことありますか？

## 古賀政男記念館・生家

「影を慕いて」「人生劇場」「柔」「悲しい酒」など、昭和の歌謡界を代表する作曲家、古賀政男は、明治37年に大川市に生まれました。日本人の心の琴線をかき鳴らす「古賀メロディー」は、哀愁を帯びた中にも明日に向かって生きていく人間の強さや逞しさを描いています。

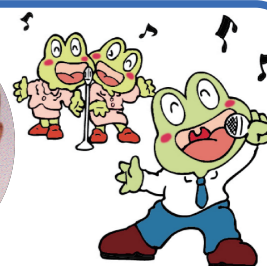


記念館には古賀政男愛用のギターやマンドリンの数々を展示。また古賀メロディーの中からリクエストした曲が聴けるオーディオ室などがあり、人間古賀政男73年の歩みをたどることができます。

また記念館の隣には、古賀政男が生まれた生家があり、見るすることができます。

■ 大川市大字三丸844  
TEL0944-86-4133  
開館時間 午前9時半～午後5時  
休館日 毎週月曜 入館料 300円

2年7ヶ月かけて  
四国八十八ヶ所巡りを  
していました



アトムコーポレーションの  
代表の入生 芳廣 です!

実は2年7ヶ月かけて四国八十八ヶ所巡りをしています、昨年11月に完結いたしました。仕事をしながら、どのように八十八ヶ所を回るのかと言いますと、毎月1回、金曜の夜に田川をバスで出発しフェリーで四国に渡り、土曜と日曜の2日間で50～60km歩き、また翌月に到達地点から歩きます。これを続けて、全長約1200kmの八十八ヶ所を周り、最後に、空海の菩提寺がある高野山に報告に行くという歩き遍路でした。

高野山は、まるで戦国絵巻を見えるように、戦国時代から江戸時代の大名の墓があり、その大きさに度肝を抜かれました。『江』のお墓もありました。石田三成と明智光秀の墓はさすがに小さかったですね。

